

2022年3月11日

株式会社山一商事と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャルグループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

本日、株式会社山一商事（代表取締役社長 松本大輔）は、本商品にて証書貸付契約を締結いたしました。

当社は、「循環型社会の構築」を企業理念に掲げ、創業以来約 40 年にわたり、産業廃棄物（普通・特管）収集運搬、中間処理、最終処分業、総合解体工事一式、スクラップ買取等をコアの事業として、東京本社、埼玉県（さいたま市、川崎市、越谷市）、千葉県（成田市）等を中心に展開してきました。これらの事業経験、知見、資産の活用と各ステークホルダーやパートナーとの連携を通じ、美しい環境を守り、次世代へ受け継ぐために、廃棄物そのものの量を減らし、リサイクルを徹底するとともに天然資源の消費を抑制し、環境負荷をできる限り低減する循環型社会の構築に寄与していくことこそが当社の使命と考えております。事業展開そのものが、SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) の取り組みと捉え、サステナブルな循環型社会の実現に向け、グループ事業とともに様々な展開を継続するなか、今後も地域や学校、省庁、企業等さまざまなステークホルダーとの連携を強化していきます。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

環境側面 (E) :

- ✓ 環境への取り組みに関するマネジメントシステムの構築・定量目標や計画を定めている点
- ✓ 3R (リデュース、リユース、リサイクル等) への対応を重要な経営課題として位置づけ、経営者の積極的な関与の下、計画的に取り組みを推進している点

社会側面 (S) :

- ✓ 自社の事業に関連して、地域コミュニティとのエンゲージメント、影響評価、コミュニティ開発プログラム等を実施している点
- ✓ 顧客満足度調査を実施し、その結果を検討し対応する措置がとられている点

ガバナンス側面 (G) :

- ✓ 組織の価値、理念および行動基準・規範を制定し、従業員に周知している点

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上